



**第2回
国府宮駅周辺再整備
検討会**

平成30年11月28日（水）

時間：9:30～

於：稲沢市役所 政策審議室

1



再開発研究会 開催概要

2

第1回 再開発研究会 概要

■概要

日時：平成30年6月3日（日）

AM10:00～AM11:30

場所：総合文化センター 3階 講習会室

参加人数：14人

■議題

地区の問題や課題・ニーズの確認、まちづくりの基本的な考え方について



3

第1回 再開発研究会 まとめ

■意見交換で出た主な意見

交通について

- ・駅直近の踏切は遮断時間が長く、不便であり、東西が分断される要因である。
- ・駅まで交通手段として、車利用が多く、混雑時は歩行者との往来が危険だと感じる。
- ・公共交通がもっと充実すれば、車利用を減らすことにつながるのではないかと。
- ・企業バスが多く、朝はバスの待ち人が長蛇の列をつくるため、混雑
- ・連続立体交差事業を見据えたまちづくりを検討して欲しい。

施設等について

- ・駅利用通勤者としては、駅近にスーパーが増えると便利だと感じる。
- ・国府宮駅周辺にあれば便利な機能と名古屋で済ませられる機能とを比較検討すべき。
- ・マンションが立地されれば、居住人口は増えるが、車の渋滞が増加しないか心配。
- ・国府宮神社へのアクセスをしっかりと誘導できるようにしたい。

4

第2回 再開発研究会 概要

■概要

日時：平成30年6月24日（日）

AM10:00～AM11:30

場所：総合文化センター 1階 第5会議室

参加人数：14人

■議題

テーマ別意見交換（駅前広場と道路について・土地利用について）



5

第2回 再開発研究会 まとめ

■意見交換で出た方向性

・長期的な取り組み

将来の連立事業を見据えた東西市街地の一体化

- ・日常的な往来のしやすさ
- ・施設立地ポテンシャルの向上
- ・交流促進による賑わいづくり
- ・歩いて暮らしやすいまちづくり 等

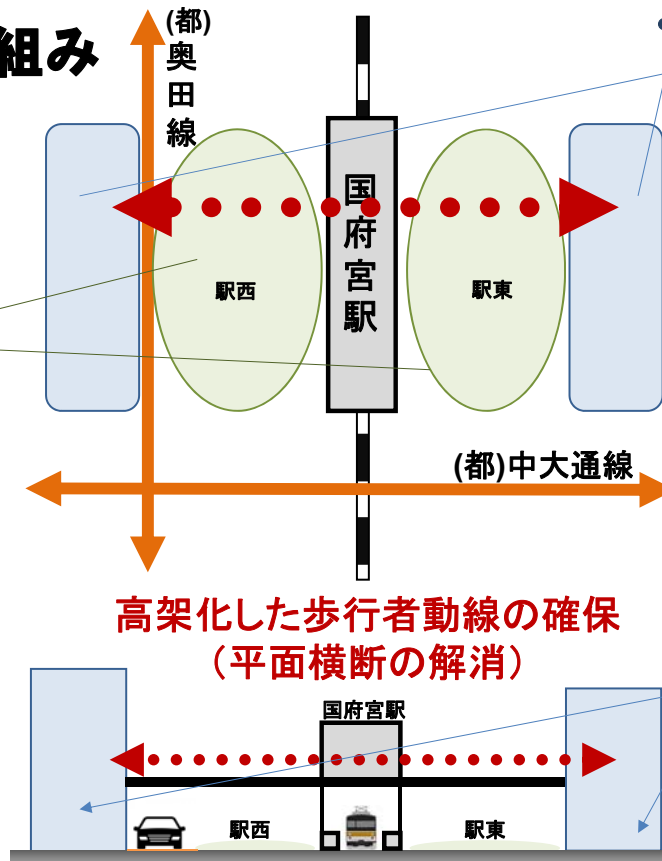
6

第2回 再開発研究会 まとめ

■ 意見交換で出た方向性

・ 短期的な取り組み

駅前広場の
改善・新設
駅西 ⇒ 改善
駅東 ⇒ 新設



土地の高度利用 ・建物、駐車場共同化

主な導入機能

- ・マンション
- 商業施設-
- ・スーパー
- ・ドラッグストア
- 飲食施設-
- ・レストラン ・カフェ
- サービス施設-
- ・床屋 ・ランドリー
- ・託児所 ・銀行
- 健康施設-
- ・スポーツクラブ
- 観光施設-
- ・歴史博物館
- ・観光案内所
- ・アンテナショップ 等

第3回 再開発研究会 概要

■ 概要

日時：平成30年7月23日（月）

19:00~20:30

場所：総合文化センター 1階 第5会議室

参加人数：13人

■ 議題

第1回検討会の報告

まちづくりの基本的な考え方、国府宮駅周辺の役割について 等



第3回 再開発研究会 まとめ

■ 意見交換で出た方向性

まちの維持・新陳代謝のためには人口が増えるのは重要。



では、人口を増やすために、

一方、人口が増えると、

- ・ どのような居住の場にするか？
- ・ どういった人に住んでもらうのか？
- ・ 必要なサービスや機能は？
- ・ 魅力になり得る資源は？

- ・ 人口が増えて、騒々しい雰囲気は国府宮駅周辺には見合わない。
- ・ 落ち着いた、閑静なまちが住み良い生活環境では。



このバランスをとるのが重要！

9

第4回 再開発研究会 概要

■ 概要

日時：平成30年9月8日（土）

AM9:30～AM11:30

場所：総合文化センター 1階 第5会議室

参加人数：13人

■ 議題

まちづくり基本的のコンセプト、まちづくり基本計画の展開について



10

第4回 再開発研究会 まとめ

■ 意見交換で出た主な意見

・まちづくり基本計画のコンセプトについて

- ・生活者が気持ちよく生活していれば、自然と人は増えるのではないだろうか。
- ・駅が、生活者にとって身近に集まれるような場所になれば良い。
- ・新たに駅前居住をつくるのであれば、将来にわたって住み続けたいくなる場にしておくてはならない。

・まちづくり基本計画の展開について

- ・駅西側の駅前広場を大きくすれば、問題は解消されるのだろうか。
- ・駅東側に交通広場等をつくると、新たな交通量が増えて、生活者にとっては利便性が高まらない。既存の道路のみで考えず、面的に交通対策を考えないと解決しない。

11

第5回 再開発研究会 概要

■ 概要

日時：平成30年11月1日（木）

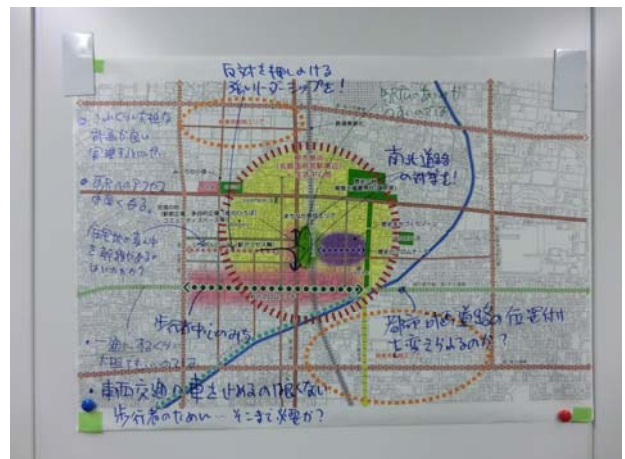
19:00～20:45

場所：総合文化センター 1階 第5会議室

参加人数：10人

■ 議題

まちづくり基本計画（長期ビジョン・短期ビジョン）について
今後の進め方について



12

第5回 再開発研究会 まとめ

■ 意見交換で出た主な意見

・長期ビジョンについて

- ・ 駅へのアクセスが良くなるシンボルロードがあってもよいのでは。
- ・ (都) 中大通り線は車両を一方通行化して歩行者中心の道路でもよいのでは。
- ・ 駅前広場はより大きくするのがよいのでは。
→以上のような大胆な計画が実現するとよい。

・短期ビジョンについて

- ・ 駅前広場がどの程度の規模が必要か、より具体的に検討が必要である。
- ・ 夜間の違法な路上駐車にも対策が必要である。
- ・ 企業バスの乗降を駅西側に集めてみてはどうだろうか。
- ・ 地権者の意見を聞いて検討していくべきである。

13



第1回～第5回 研究会成果のまとめ

昨年度策定した基本構想案を住民目線でブラッシュアップ

14

まちづくりのコンセプト

■基本構想での国府宮駅周辺のコ​​ンセプト

◎本市が居住都市として選ばれる都市とするために、名古屋へのアクセス利便性に特に優れ、本市の玄関口であり都市全体のイメージを象徴する国府宮駅周辺において、居住の場の確保とともに、居住都市として魅力アップのために必要な要素（クオリティ・オブ・ライフ）を備えたまちづくりを展開する

◎あわせて、本市がいつまでも暮らし続けたい都市となるために、まちへの誇りや愛着心を育む「まちの個性」づくり（地域固有の歴史や文化等を活かしたまちづくり）を展開する



まるで、レストランの食品サンプルのよう。きれいでおいしそうだけど食べられない。誰も反対しないが現実と乖離している。

住民（=生活者）目線を加えたコンセプトにする必要がある。

15

まちづくりのコンセプト

生活者目線でみた国府宮駅周辺のまちのにぎわいとは？

- ・ にぎわい=人の数ではない
- ・ まず、生活者が気持ちよく、快適に暮らせること。
その上で、来訪者（ビジネスマンや学生等）が滞在できる・滞在したくなる空間があること。
- ・ 自動車に頼りすぎることなく、老若男女誰もが楽しく歩けること。



これらが揃ってはじめて、にぎわいが創出できると認識

16

まちづくりのコンセプト

●歩いて楽しいにぎわいのイメージ



谷中銀座



戸越銀座

●滞在したくなる公共空間のイメージ

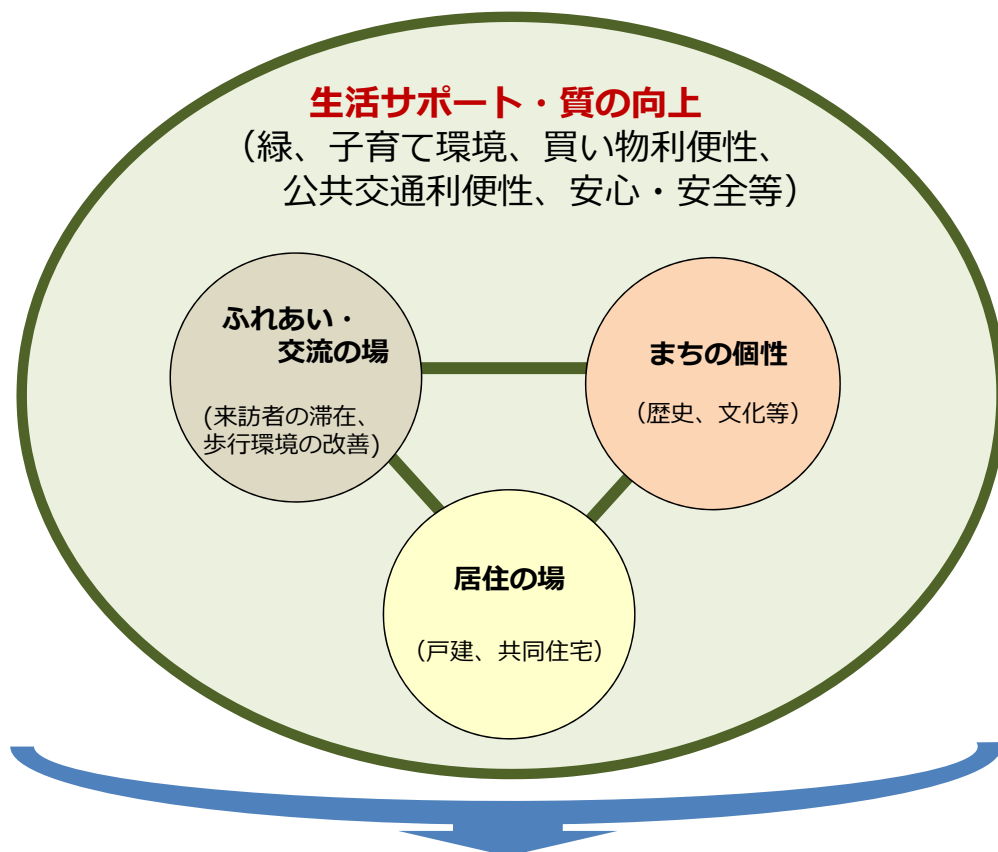


天理駅前広場



多治見駅前広場

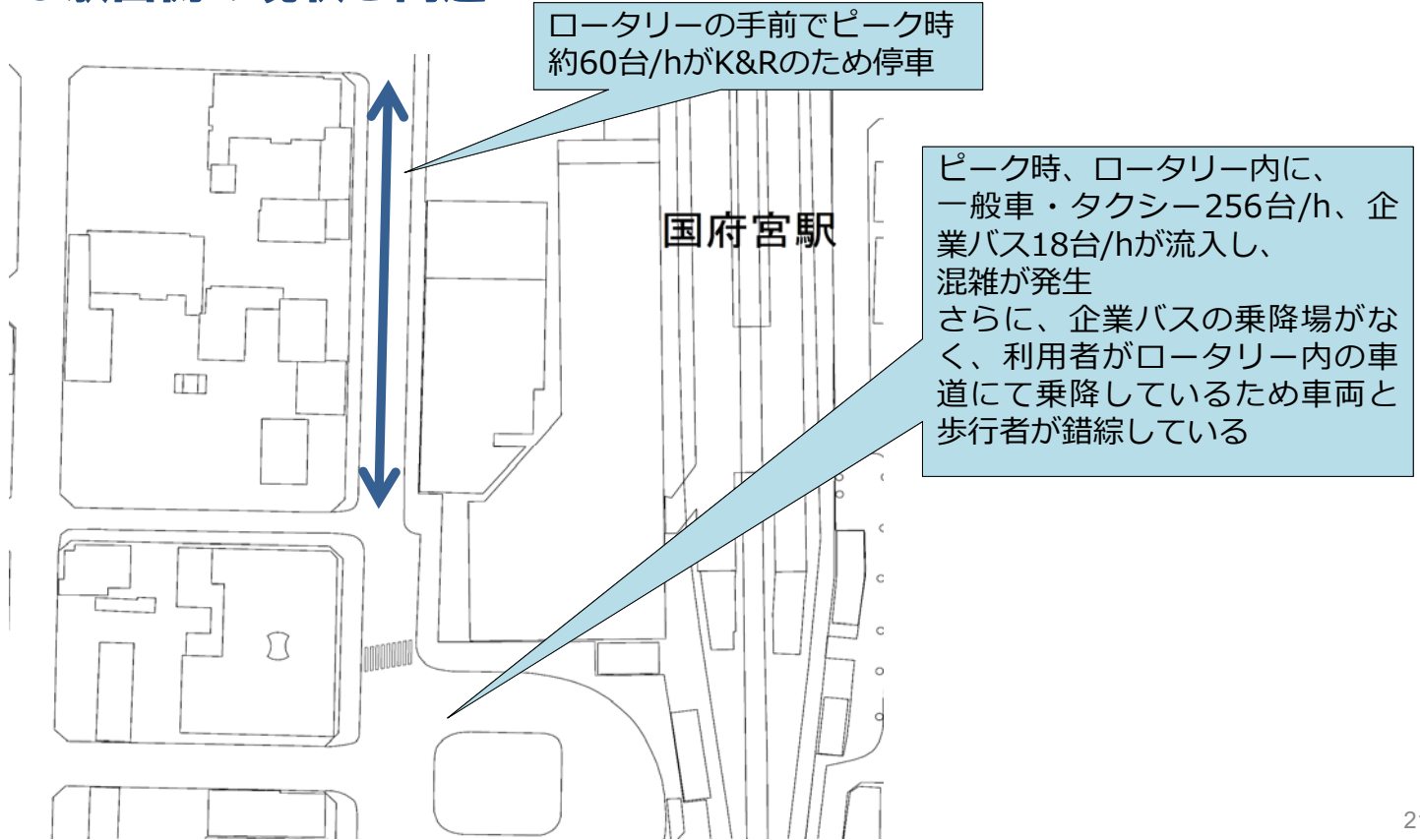
まちづくりのコンセプト



国府宮駅周辺 = **生活中心地**

まちづくり短期ビジョン

● 駅西側の現状と問題



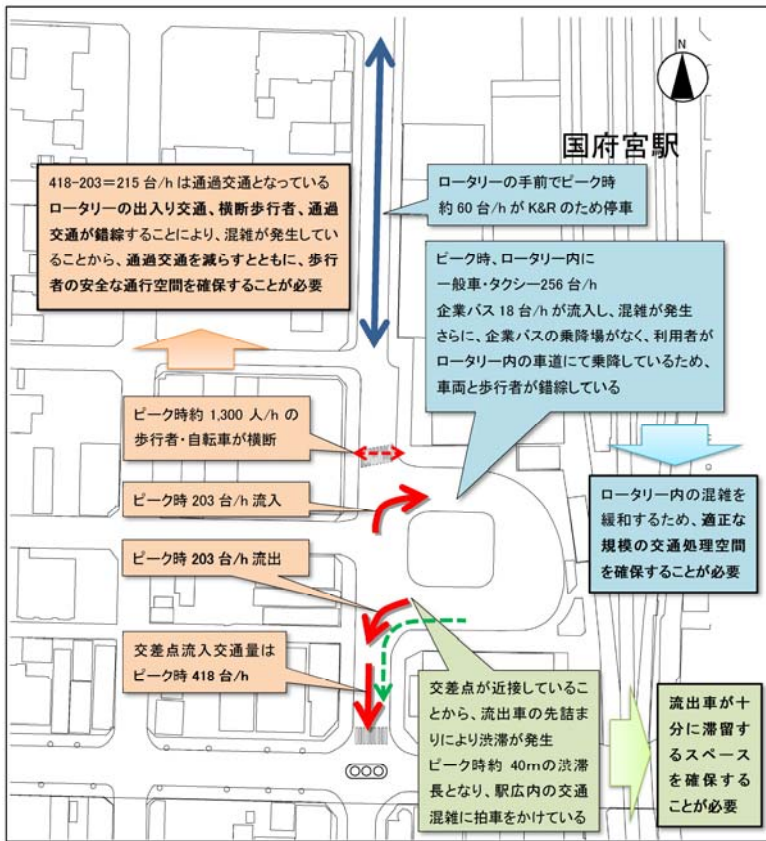
まちづくり短期ビジョン

● 駅西側の現状と問題



まちづくり短期ビジョン

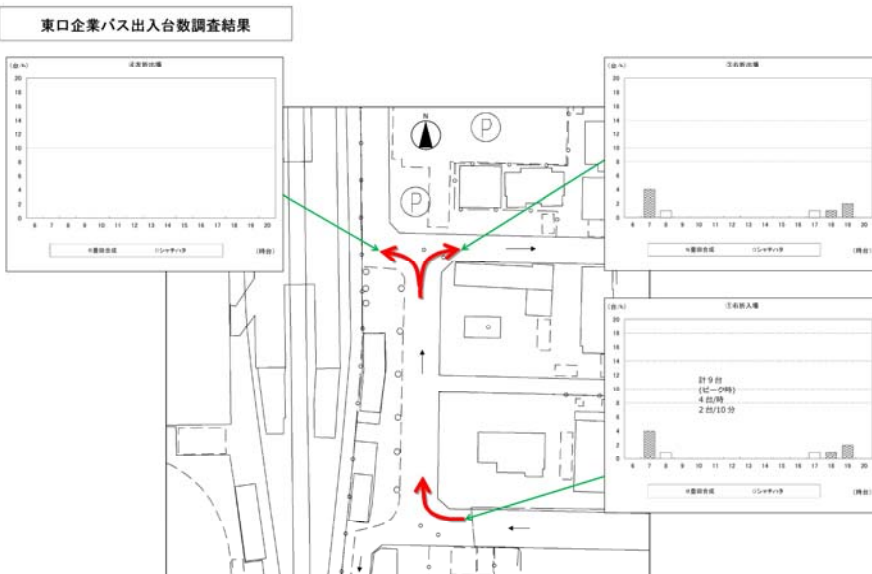
● 駅西側の課題



まちづくり短期ビジョン

● 駅東側の課題

企業バス待合空間の確保が必要



～まちなか生活中心地づくりに向けて～

喫緊の課題

課題①安全・安心に利用できるように駅前広場の整備・改善が必要

●市民・駅利用者ニーズ

重要度は高いものの満足度が低い項目(＝特に対応が求められている項目)

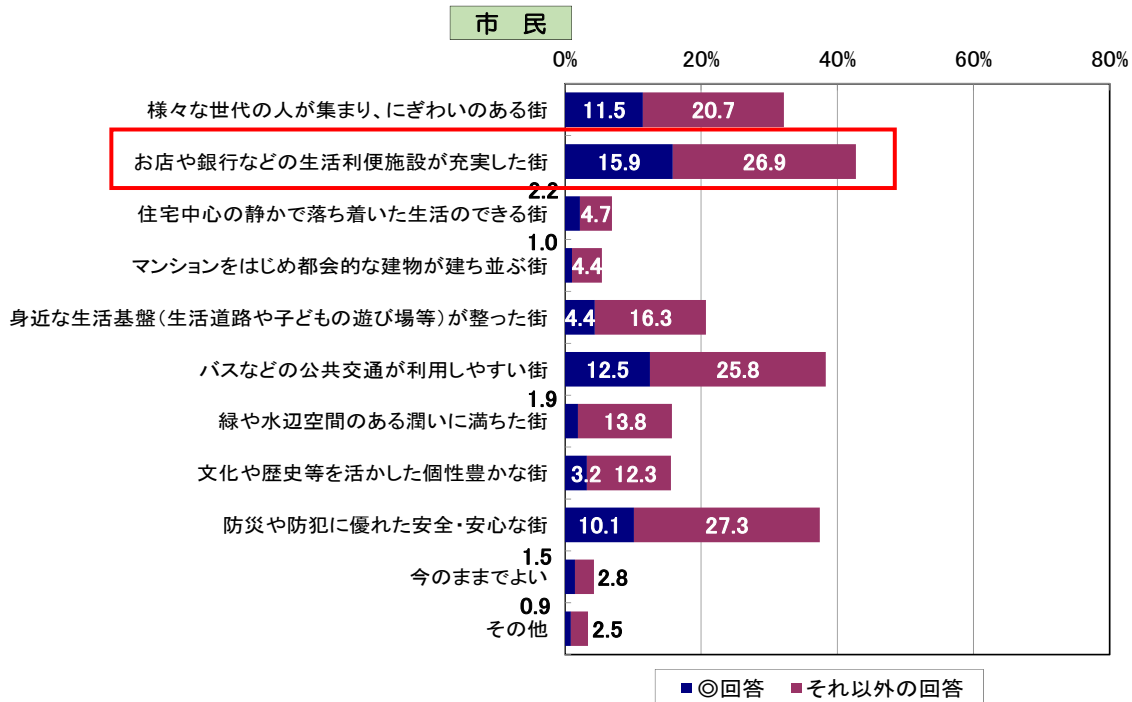
市民：★ 駅利用者：★

- | | |
|---------------------------|--|
| ①名鉄名古屋本線の運行頻度について | ★⑫国府宮駅周辺への車での行きやすさについて |
| ②名鉄国府宮駅の施設の利用のしやすさについて | ★★⑬歩行者や自転車が安全に利用できる道路について |
| ③国府宮駅で利用できるバスの運行頻度について | ★★⑭お年寄り、子ども、身体の不自由な人も不便や不安がなく歩ける道路について |
| ④バス乗り場の利用のしやすさについて | ★⑮国府宮駅周辺の商業施設の種類の数について |
| ⑤タクシー乗り場の利用のしやすさについて | ★⑯国府宮駅周辺の商業施設の魅力や質について |
| ★★⑥車での駅前広場の利用のしやすさについて | ★⑰国府宮駅周辺の飲食店の魅力や質について |
| ★⑦国府宮駅周辺駐車場の利用のしやすさについて | ⑱国府宮駅周辺の緑の多さについて |
| ⑧国府宮駅周辺駐車場の駐車料金について | ⑲国府宮駅周辺の街並みの景観について |
| ⑨国府宮駅周辺全体としての駐車場の収容台数について | ⑳国府宮駅周辺の文化施設・福祉施設等の生活に密着した公益施設の利用のしやすさについて |
| ⑩国府宮駅周辺駐輪場の利用のしやすさについて | ㉑国府宮駅周辺の治安について |
| ⑪国府宮駅周辺全体としての駐輪場の収容台数について | ㉒国府宮駅周辺で開催される祭りやイベントについて |

まちづくり短期ビジョン

●市民・駅利用者ニーズ

国府宮駅周辺の将来像



27

まちづくり短期ビジョン

●地域住民ニーズ（研究会での主な意見）

交通について

- ・駅直近の踏切は閉塞時間が長く、不便で東西が分断される要因である。
- ・駅まで車利用が多く、歩行者との往来が危険だと感じる。
- ・公共交通がもっと充実すれば、車利用を減らすことにもつながるのではないか。
- ・企業バスも多く、朝は待ち人が長蛇の列をつくり、混雑して危険。

施設等について

- ・駅利用通勤者としては、駅前にスーパーがあると便利だと感じる。
- ・名古屋で済ませられる機能と国府宮駅周辺にあれば便利な機能を比較検討すべき。
- ・マンションが立地されれば、居住人口は増えるが、車の渋滞も増えないか心配
- ・国府宮神社へのアクセスをしっかりと誘導できるようにしたい。

28

～まちなか生活中心地づくりに向けて～

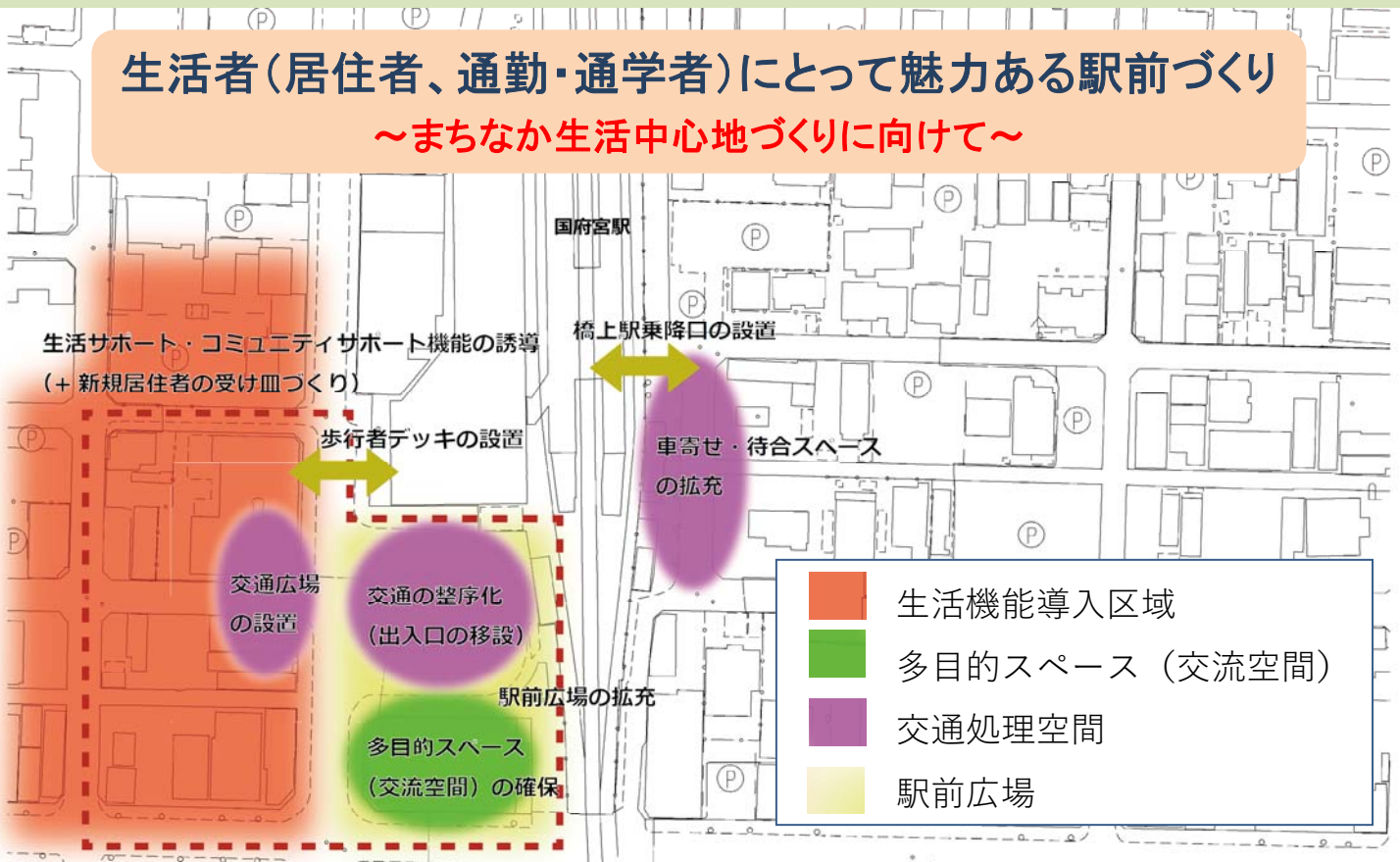
喫緊の課題

課題①安全・安心に利用できるように駅前広場の整備・改善が必要

課題②生活者（居住者、通勤・通学者）にとって魅力ある駅前空間づくりが必要

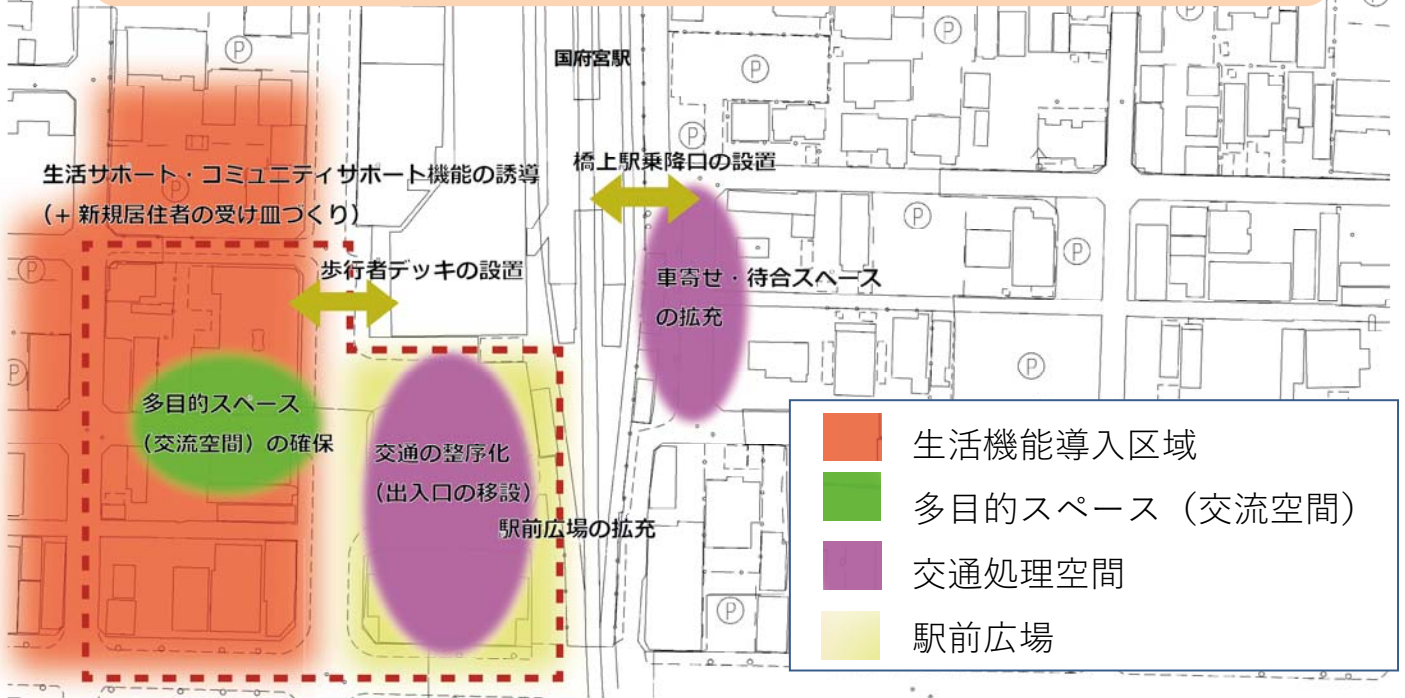
まちづくり短期ビジョン(案)

生活者（居住者、通勤・通学者）にとって魅力ある駅前づくり
～まちなか生活中心地づくりに向けて～



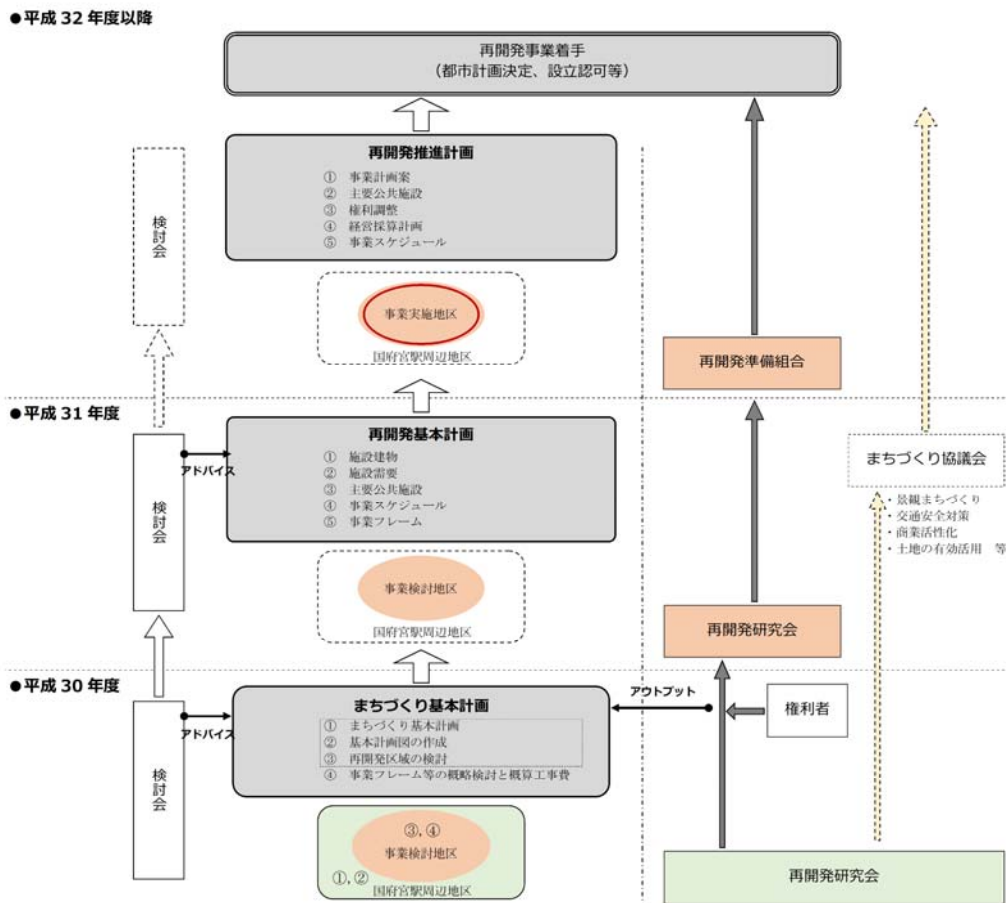
まちづくり短期ビジョン(案)

生活者(居住者、通勤・通学者)にとって魅力ある駅前づくり
 ~まちなか生活中心地づくりに向けて~



今後のまちづくりの進め方・体制(案)

国府宮駅周辺再整備 検討体制(案)



第2回検討会の論点

- ① 「まちづくりコンセプト」及び「長期ビジョン」について、住民目線に加え、大所高所から追加・見直すべき点はあるか？
- ② 「短期的に対処すべき課題（喫緊の課題）」とその実現に向けた「短期ビジョン（駅西・駅東）」について、住民目線に加え、大所高所から追加・見直すべき点はあるか？
- ③ 来年度の検討体制はどのようにあるべきか？